

しみんかいぎだより

令和5年9月 No21

5月8日に新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同じ5類に移行しました。この3年あまり、経済をはじめ様々な分野で大きな影響がありました。その中の一つに出生数の減少があり、昨年生まれた子どもの数は77万747人で過去最少を更新し、少子化の加速が止まらない状況とされています。

一方で男性の育休取得率が上昇したというニュースもあり、昨年度の取得率は17%で前年度より3.16ポイント上昇し過去最高、大企業での取得率は46.2%と発表されました。今後の課題としては、雇用形態にかかわらず希望者が取得しやすい環境づくりや中小企業での取得促進などがあげられていました。

男女共同参画のキーワードに「リプロダクティブヘルス・ライツ」という言葉があります。性と生殖に関する健康と権利と訳されますが、妊娠、出産は当事者である女性の自己決定に基づくものという考えです。妊娠、出産はもとより、男性の育休取得も本人の希望が尊重される社会となるよう、啓発活動や情報発信を続けてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議 代表 東海林 公子

男女共同参画市民フォーラムを開催しました！

テーマ：「〇〇らしさ」の中に隠れた偏見について考えてみませんか？

日時：令和5年6月25日（日）午後1時30分

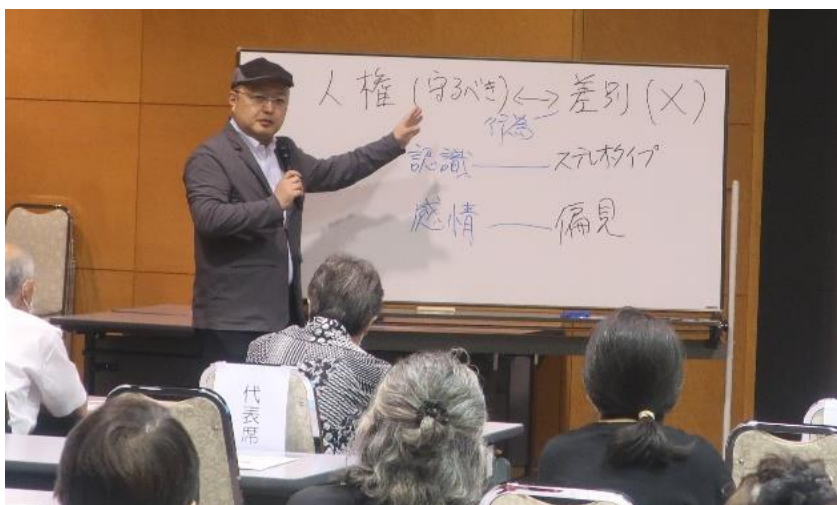
会場：岩見沢市自治体ネットワークセンター マルチメディアホール

講演：マンガから考えるジェンダー

講師：吉村 和真 さん（京都精華大学マンガ学部教授）

吉村和真さんは、日本マンガ学会の設立や京都国際マンガミュージアムの開館に尽力され、マンガ研究の環境整備と社会還元を推進をされています。

マンガは子どもから大人までわかりやすく読めるものだと思われていますが、実は複雑な構造で成り立っていることや、「〇〇らしさ」のようなジェンダー表現やステレオタイプ、無意識の偏見についてマンガから知らず知らずのうちに影響を受けているということ、実際にマンガを見ながらわかりやすくお話されました。様々なマンガの特徴なども知ることができ、これまでと違ったマンガの楽しみ方を知ることができた講演でした。



フォーラム参加者の声

- 実際のマンガを読み進めながらの講演は非常に面白かった。
- マンガにもジェンダーがあることを知ることができた。



第8回男女共同参画川柳コンテスト表彰式

市民フォーラムと同時開催で、第8回男女共同参画川柳コンテストの表彰式が行われました。入賞者には、賞状と副賞（図書カード）が贈られました。沢山のご応募ありがとうございました。

（応募総数 29名76作品）



家事育児リーダーなしのチーム戦 角田 亜理沙 さん

■講評

みんなが助け合い協力して事に当る家庭生活には、あなたが主役、脇役はありません。みんなが知恵を出し、一人一人が生きる存在感のある家庭が素敵です。豊かな家庭はみんなが主役です。まさにワンチームで事に当りその成果を喜び合う家庭での協力体制のチーム戦が効いています。

入選

（五十音順）

多様性叫ばず理解のある社会 片山 美奈子 さん

■講評

現代社会では今や多様性が認められています。社会が変わってきた証拠で、「叫ばず」には多様性への理解がますます高まる期待が表れています。

女性初いつか絶対死語になる 杉山 武志 さん

■講評

上五の「女性初」と言われるうちはまだ男性優位ということだと思います。この言葉が消える社会が到来することを願っている作者の強いメッセージが表現されています。

今月のパママシフト壁に貼る 瀬戸 廣明 さん

■講評

家庭生活の毎日の分担、交代しての役割などを互いに相談している様子が目に浮かびます。それぞれの都合を認め合いながら今月のシフト表の考案に家庭愛がにじみ出ています。

人として為すべきことに性差なし 范 英二郎 さん

■講評

人間生まれて日常生活においてすることは男であろうと女であろうと分けて考える必要はありません。少し格言くさくなっていますが改めて確認しています。

親子レク気付けば半分お父さん 宮原 孝明 さん

■講評

以前は学校の参観日に来られるのはほとんどお母さんでした。今は学校の行事等に半分はお父さんが来ているのが普通になったとすれば、子育ての共同体制の具現化で良い傾向です。

※講評は、岩見沢文化連盟 岡 嘉彦 会長です。



毎年4月に作品募集をしています！
広報いわみざわや市オフィシャル
ウェブサイトを見てください！
たくさんのご応募お待ちしております！



〈左から松野市長、東海林代表、角田さん、杉山さん、范さん、岩見沢文化連盟岡会長〉

男女共同参画週間啓発展示を行いました！

毎年6月23日から29日は男女共同参画週間です。啓発活動の一環として、市役所や市内商業施設で啓発展示を行い、啓発グッズも配布しました。また、岩見沢市立図書館と連携して6月6日から29日まで、男女共同参画に関する書籍を展示しました。



<イオン岩見沢店>



<であえーる岩見沢>



<市役所>



<国のチラシ>

令和5年度男女共同参画週間の国のキャッチフレーズは、「無くそう思い込み、守ろう個性 みんなでつくる、みんなの未来。」



<市立図書館>

■書籍紹介■



市民フォーラムにお招きした吉村さんの著書です！

- マンガノミカター創作者と研究による新たなアプローチ（この史代・竹宮恵子・吉村和真 著・2021・樹村社）

ぜひ読んでみてください！

LGBTやワーク・ライフ・バランス、子ども向けなど様々な書籍を展示しました。貸出は、引き続き行っています！



お知らせ

第15期男女共同参画ステップアップ講座

◆会場 生涯学習センターいわなび

第1回 「ポストコロナ期に求められるジェンダー格差の解消」
講師 中園 桐代さん（北海学園大学経済学部 教授）
日時 令和5年9月30日（土） 14:00～15:30

新型コロナウイルス感染症によって、より深刻になったジェンダー格差。ポストコロナ期と言われる今後、何ができるのか一緒に考えてみませんか？

第2回 「アンコンシャス・バイアス～無意識の思い込みにとらわれない自分づくり・組織づくり」
講師 岡本 真なみさん（Officeエトス 代表）
日時 令和5年10月29日（日） 14:00～15:30

無意識のうちに、男らしさや女らしさなど「〇〇らしさ」ということにとらわれていませんか？
自分らしさとはどういうことか一緒に学んでみませんか？

※詳しくは、市ホームページや広報、チラシをご覧ください。

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議では、誰もが自分らしく生きられる男女共同参画社会の実現を目指して活動しています！

様々なイベントの開催や情報誌を発行し、みんなで楽しく活動しています！

会員と実行委員を大募集しています！会員登録は無料で、イベントのお知らせなどを送付しています。お気軽にお問合せください！



川柳コンテスト
毎年4月に募集！



市民フォーラム
知識を深める！



ステップアップ講座
講師の先生と楽しく！



パープルリボンプロジェクト
毎年11月に実施！



展示啓発
ポスター展示やグッズを配布！



情報誌発行
毎月3月に発行！

■あしがき

今年は厳しい暑さが続き、例年以上に熱中症に注意しながら過ごす毎日でした。そのような中でも今年の「しみんかいぎだより」をお届けすることができ“ホット”しています。

第8回を迎えた川柳コンテストにはたくさんの句が届きました。入選、選外を問わず、一つ一つの作品の想いが伝わり、心が温くなりました。

ステップアップ講座の準備も始めました。今年の秋は「勉学の秋」にしませんか。ぜひご参加ください。

■事務局

☆岩見沢市役所
市民環境部 市民連携室 男女共同参画担当
〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号
TEL：0126-35-4271（直通）
FAX：0126-23-9977
E-mail：danjo@city.iwamizawa.lg.jp

こちらまでお気軽に
お問い合わせください。

